



【銀賞・大造り物賞】 浦川連合組 「復興 願う 守護の龍」



【銅賞】 大川町・下大川連合組 「封鯨」



水道町・城見町・新町上連合組
光雲（幸運）の猿（縁）



新町中連合組
せいしよさんのなまず退治（清正公）



仲町上連合組
凶を廃して、吉と成す！福来（復興）麒麟山都町に現る！



仲町下連合組
山都町に こーい 鯉



下馬尾連合組
絆 一繋ぐ未来、笑顔の熊人ー



山都町役場
戦うしんざい（闘牛）



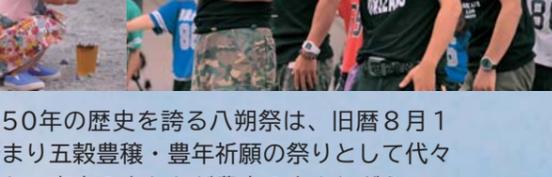
矢部高校
熊本は僕が守るモン



矢部小学校
ヤベオン「元気 笑顔 平和」



今できることを
みんなの
元気を、笑顔を
発信。



江戸中期から約250年の歴史を誇る八朔祭は、旧暦8月1日（八朔）の日に始まり五穀豊穡・豊年祈願の祭りとして代々受け継がれてきました。商家の人たちが農家の人をねぎらい、手厚いおもてなしを行ったことに由来します。八朔祭のためにつくる大造り物は竹・杉・すすき・松笠などの自然の材料を使い、各連合が競い合います。

9月2日、前夜祭、3日の各小学校による鼓笛隊や各団体によるおどりが口火を切り開催された八朔祭は、台風が接近している中でしたが、参加した人たちを始め、鼓笛隊の演奏やおどりに見入るお客さんも多く、開催される喜びに盛り上がりを見せました。

9月10日、台風12号で延期になった造り物の引き廻しでしたが、会場は全ての造り物が集結し、引き廻しでは見ることのできない大集結にお客さんは大興奮の様子でした。思い思いに写真を撮る人もいれば、「材料は何ですか？」など各連合に質問する人もいました。

この日は一斉に審査と各連合の造り物の紹介も行われ、製作にかかった期間や見てほしいこだわり、それぞれの復興へ向けたメッセージも語られました。

矢部の 八朔祭



【金賞】 下市連合組
今・だから山都町 2016